

イトイヌノハナヒゲ

Rhynchospora faberi C.B.Clarke

カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧 I 類

国カテゴリー 該当なし

選定理由

もともと稀少な種である。既知の産地は数ヶ所あるが、今回の調査では内浦区の1ヶ所の確認情報があったのみ。(現況:R-)

形態

低地に生えるイヌノハナヒゲ類では最も小型で繊細な種。高さ10~40cm、葉は細く幅0.5~1mm。小穂は長さ4~5mm。刺針状花被片は果と同長またはやや長く、太くて下向きの微齒が密生して著しくざらつく。

国内分布

北海道~九州。

県内分布

外浦区(能登町柳田地区)、内浦区(穴水町)、中能登区(七尾市)、南加賀区(加賀市)。

生態など

多年草。花期は7~9月。

生育環境

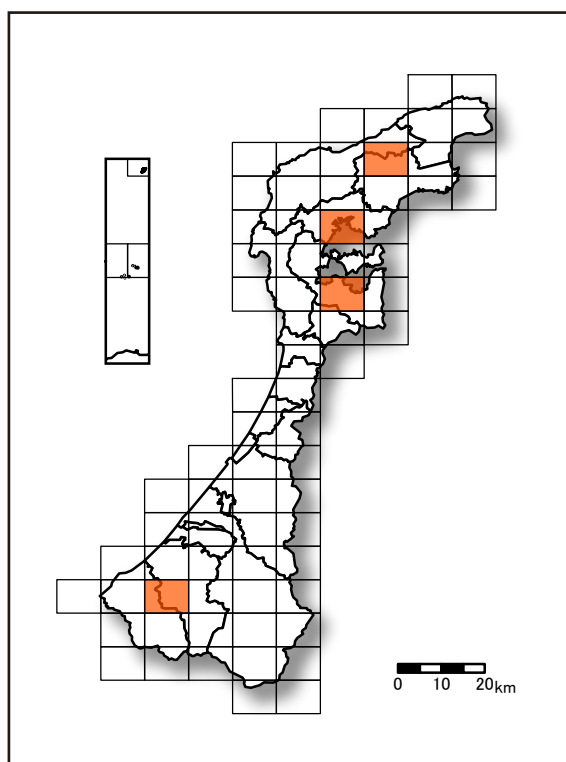
平地の日当たりのよい湿地、池沼畔。

危険要因

湿地開発、踏みつけ、管理放棄、産地局限。



林 二良・2009年9月4日・中能登



県内の分布